

**公益財団法人 前田記念工学振興財団**  
**令和6年度 特別研究テーマ助成の募集**

当財団では、平成29年より大学生及び大学院生、並びに工業高等専門学校4年次以上及び専攻科の学生に対して、「特別研究テーマ」と題し、海外視察や海外現地での調査活動を主活動とする研究助成事業を実施しています。令和2年よりコロナ禍のため本事業の実施が困難でありましたが、国際社会がウイズコロナ、アフターコロナに移行していくなか、昨年度（令和5年度実施）より募集を再開しました。令和6年度には従前同様に、学生2名以上のグループにて海外を巡る研究活動を募集しますので、奮ってご応募ください。

1. 内 容： 自らの将来の研究活動に役立てたり提言したりするため、海外を実際に巡り、日本を含む各国に潜在する諸課題を把握・分析し、これを解決するための工学の将来課題を発掘する研究活動に助成します。
2. 助成対象： 日本国内の大学の工学（土木・建築・i-construction）系学部・専攻に所属する学部学生及び大学院生、並びに工業高等専門学校4年次以上及び専攻科の学生による2人以上のグループ。ただし、日本国籍を有する者が半数以上含まれることとする。（i-construction分野の技術範囲等は、下段「8.その他（4）」を参照）
3. 助成期間： 令和6年4月1日から令和7年3月末日まで
4. 助成予定数： 10件程度  
（参考）採択率：平成29年度46%、平成30年度63%、令和元年度78%、令和2年度71%、令和5年度96%。
5. 助成額： 100万円以内／グループ  
・ 学生個人（グループの代表者）に「学資金」として交付します。
6. 応募の手続き：
  - (1) 実施計画書（申請書）を提出していただきます。
    - ① 当財団所定用紙（Word）をホームページの研究助成 特別研究テーマの募集サイト（[https://www.maedakksz.or.jp/kenkyu\\_theme/](https://www.maedakksz.or.jp/kenkyu_theme/)）よりダウンロードしてご使用ください。
    - ② 所定用紙には、研究目的、訪問国、訪問先や概略工程・旅程、研究や調査内容、概略費用の内容、将来への成果の活用等について記載して下さい。指導教官の推薦は必須です。進学や人事異動等により指導教官が変わる場合は、推薦された指導教官の責任で引継ぎをお願い致します。
    - ③ 所定用紙（Word ファイル）への入力完了したら、PDFを作成し、後述の電子申請シス

テムより両方をアップロードしてください。PDFにはパスワードやセキュリティ設定を行わないでください。また、ファイルの容量は5MB以内をお願いします。

※ ファイル名は、「特別テーマ申請書\_氏名.pdf」で作成してください。

例1) 特別テーマ申請書\_前田太郎.pdf 例2) 特別テーマ申請書\_鈴木一郎.pdf

- ④ 電子申請システム（Graain）で応募ください。ログインURLは当財団HPを参照。  
**詳しくは、「操作マニュアル・13ページ」を参照ください。**

## (2) 募集期間

令和5年8月21日（月）～令和6年1月18日（木）12:00まで

### 7. 選考及び助成の決定

理事会の決定を受けた審査担当理事が審査・選考し、理事会にて助成を決定後、令和6年3月末日迄には連絡します。

### 8. ヒヤリング会への出席（実施予定：令和6年5月31日（金）午後12～14時頃）

助成が決定したグループに対しては、令和6年5月31日（予定）に申請書に基づいて、対面でのヒヤリング（JR東京駅周辺の会議施設にて）を行います。その結果次第では助成を取り消すこともあります。なお、ヒヤリング会への交通費は別途支給します。

### 9. 研究成果について

令和7年3月末日までに報告書を提出していただきます。報告書は当財団のHPに掲載されますのでご承知おき下さい。また、所属機関のHPに掲載された場合は、財団事務局にご連絡ください。リンクを張らせて頂きます。なお、諸般の事情等で海外に渡航出来なくなった場合には、辞退届を提出して頂きます。

## 10. その他

### (1) ビザや海外旅行保険

当財団としては、海外での事故、傷害等に遭われましても一切責任は負いかねます。助成が決定した場合には、出発前までに必要なビザを自ら取得し、また、「海外旅行保険」に入ることを必須として保険契約書の写しを財団に提出していただきます。

### (2) 渡航判断について

渡航に際しては、外務省の「海外安全情報」「感染症危険情報」で渡航先の状況を把握し、所属する機関（大学等）の方針に従って下さい。特別な事情がない限り渡航判断は令和6年11月末日までには決定し、実施断念の際には当財団事務局に連絡を下さい。

### (3) 助成金の交付について

所定の手続きが終了され次第、令和6年4月末日以降、出発日2ヶ月前までに代表学生個人名義の銀行口座へ送金します。送金後の助成金の管理は、受領した代表学生本人にて行って頂きます。

### (4) 「i-construction 分野」の技術範囲

社会インフラや建築物の計画、設計、施工、保守管理、運用に至る全てのライフサイクルを対象とした、建設業の高度化・高信頼化、および国土・地域・都市・建築にかかわるイノベーションに寄与する情報通信技術を活用した建設技術を対象範囲とします。

具体的技術の例

- ① 計 画 : プロジェクト計画、プロジェクトシミュレーション、等
- ② 設 計 : 計画ツール、VR・AR・MR・SR、BIM/CIM、等
- ③ 施 工 : 施工計画・管理、センシング・モニタリング、自動化・ロボット化・機械化、  
パワーアシスト、UAV、CPS、5G、等
- ④ 保守・運用 : プロジェクト情報管理、施設維持運用管理、FM、等
- ⑤ インフラ・建築DX : スマートシティ、Society5.0、スマートエネルギーマネジメント、等

#### 【連絡、問い合わせ先】

住所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目3-1 一口坂中央ビル

公益財団法人 前田記念工学振興財団・事務局

電話 03-3222-6481 E-mail kinen.zaidan@jcity.maeda.co.jp

URL <https://www.maedakksz.or.jp>

以上